

領 収 証

無形資産株式会社様

No. _____

★ 但 ￥ 51,181 -
(行: 郵)

H28 年 6 月 2 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等 (%)

〒273-0853 千葉県船橋市金杉

有限会社 ポスト・イ

代表取締役 上條利昭

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

無形資産株式会社様

No. _____

★ 但 ￥ 39,403 -
(行: 郵)

H28 年 7 月 30 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等 (%)

〒273-0853 千葉県船橋市金杉

有限会社 ポスト・イ

代表取締役 上條利昭

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 市政報告

鎌ヶ谷市議会議員

岩波はつみ

発行日 2018.04.01 No.41

発行者 鎌ヶ谷市議会無所属の会

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <http://iwanamihatsumi.com>

清水市政十六年は何を残してきたか？
 新京成高架事業、新鎌ヶ谷整備は前皆川市政の置き土産。保育所、耐震、文化ホール、学校空調・・・が清水市政の成果物。そして3年後には財源不足が見込まれる危機。一方で、新鎌、北初周囲の土地利用、市川方面への道路整備未着手。支出策なら誰でもできる。人口減少に向かい収入確保し、質を高めて支出を抑える改革は、信頼あるチームリーダーの下でしかできない。



市民との約束、市川への新設道路には予算ゼロ。H30 予算人口減少に見合う鎌ヶ谷市へ、『転ばぬ先の杖』で高齢社会を生きる

モノ言う市民の尊厳を傷つけるな!

「赤字決算だが健全財政」(2017.11.15 広報かまがや)と伝える意味不明な広報に疑問を感じた一市民が、財政を解説する白書をつくって欲しいと3月議会に陳情した。役人が陳情書の一語一句を取り上げ誤りがあると解説し、「このような要望を出しているのは陳情者一人だけ」と議員に説明する。傍聴していた陳情者はすっかり不愉快になったという。正式な手続きで意見を述べたら、公の席でコケにされ、恥をかかされた。

何年にも及ぶテニスコート一面増設要望は却下、初富駅アクセス道路では、住民との合意事項を一方的に変えて、その説明を求めると「皆さんの役割は終わった」と突き放す市役所。変更経緯の打合せ記録の開示を求めると、7カ月も検討に時間をかけた上で、今も将来も開示は約束できないという。いったいこの役所は誰のために存在しているのか?できることをしないことを傲慢という。モノ言う市民はクレーマーではない。市民を委縮させるな。市民の尊厳を傷つけて民主政治は存在しない。こんな仕事は公務員の本務ではあるまい。

全国の自治体が人口減少に見合う態勢へと切り替えに必死だ。我が市も気を引きしめ、『転ばぬ先の杖』を持ち徹底行革に突き進むべきだ。3年後の財源不足まで時間との勝負になっている。

中沢から市川に抜ける新設道路への予算ゼロ、ありえない

平成19年に市民2500人の協力の下、市が公表した整備する

道路の優先順位では、最優先路線として、中沢から市川インター方面につながる新設道路(1.5km)が示されている。あれから10年たつが、今年度以降この道路予算はゼロである。税収より社会保障費が上回る今、道路等への投資は昨年比に比べ33%、11億円減額してようやく予算を組むことができた。長期に多額の費用がかかる道路建設は、最重要の一本を選んで集中投資するしかない。都心に向かう本道路渋滞緩和には、他の道路より優先して予算投入すべきだ。



市川インターに直結する浦安鎌ヶ谷線(市川市内)。この道路につながる道路整備が必要

23年前の約束を果たすため、軽井沢協定書の改定必要

23年前の平成7年、市内軽井沢にごみ処理施設建設にあたり、住民の方々に苦渋の決断をしていただかねばならなかった。廃棄物集積地としての心理的負担軽減、地域のイメージアップを掲げ、当時の市職員は日夜、地元と神経を張り詰めた交渉にあたり、地区整備構想がつけられ協定書は結ばれ、そしてごみ処理施設建設に至った経緯がある。

今年度予算に協定書記載項目の一つである、ゴミ運搬車両用道路予算が計上されてきた。4年前の地元自治会との打ち合わせ記録から、地元要望がすべてこちらも不開示。この道路がどの程度必要なのか、この道路で軽井沢地域のイメージアップという目的に対応できるのか、うかがい知ることができない。23年前の人口増加時代の協定書を今もそのまま使っているのは適当ではない。高齢化、人口減少時代に沿って、軽スポーツや産業誘致の需要を受け止め、軽井沢地域の整備計画、それに基づく協定書を早急に改訂することだ。7年以上5億円以上かかる運搬車両用道路より優先すると考える。

お知らせ

7月8日(日)、鎌ヶ谷市長選挙、市議補欠選挙(定数1)執行決定

岩波 初美 (イワナミ ハツミ) 経歴

■ 1959年(昭和34年)山梨県生まれ

■ 夫・夫の母・子ども3人・孫2人(岐阜県在住)

■ 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学院社会システム科学研究科修士課程修了。工学修士。

■ 大学卒業後、生活協同組合職員8年、1991～1999年鎌ヶ谷市議会議員2期8年務める。NPO法人役員、会社役員を経て、2010年と2014年7月、鎌ヶ谷市長選挙に立候補、12000票をいただくが及ばず。2001年アクアライン通行料金研究会、その後アクアライン800円実現化協議会運営委員。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。(2007.4-2018.3)。

■ 現在 鎌ヶ谷市議会議員4期目、知的障がい者生活支援施設職員4年目、ポールウォーキングコーチ2年目。

■ 2015年35年ぶり学生となり、大学院にて組織マネジメントを学ぶ。福島原発避難者すでに帰還している方々へのヒアリングを通じ、帰還した住民が住み続けるための必要な条件と自治体政策を研究論文として発表。



変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 市政報告

鎌ヶ谷市議会議員

岩波はつみ

発行日 2018.05.01 No43
発行者 鎌ヶ谷市議会無所属の会

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-1-34 前田ビル3F
電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790
メール kamagaya@iwanamihatsumi.com
活動ブログ http://iwanamihatsumi.com

改革とは特定個人の既得権返上をいう徹底した改革と言うは易し、予算にその姿なし。市長の決意と覚悟なしに改革はできない。特定団体に提供され続けている補助金、過去決めた通りにつけられる事業予算を一旦返上し、今必要なことにつけ直す作業を改革という。既得権を得ている人からの抵抗は当然ある中でも、母屋が倒れてしまえば元も子もない。その必要は理解していただけるはずと信じている。



7月8日(日)は鎌ヶ谷市長選挙、有権者ならではの大事な仕事。

アクアラインでできて、鉄道でできないはずはない! 地域の最重要課題、北総鉄道運賃値下げ

「住民の行動が国を動かす」見せつけてきたアクアライン800円運動

私は30才代に鎌ヶ谷市議を2期務め、何もできない無念さに駆られ、一度は市政を退いた。50才代になり復帰した要因が、アクアライン800円の実現にある。誰もが諦めていたが、誰もが理不尽だと思っていた高額な高速道路通行料金を、造って使わせない道路とは何か!自分の行動が種火となり、住民が動けば政治は動くことを証明できた。

値下げ後の8年間で、当初の4倍の交通量、地価の上昇、観光客消費額、設備投資額もぐっと増え、900億円の経済効果が計算されている。

私には夢がある。住民の願いが叶う政治だ。その夢を皆さんと叶えたい。

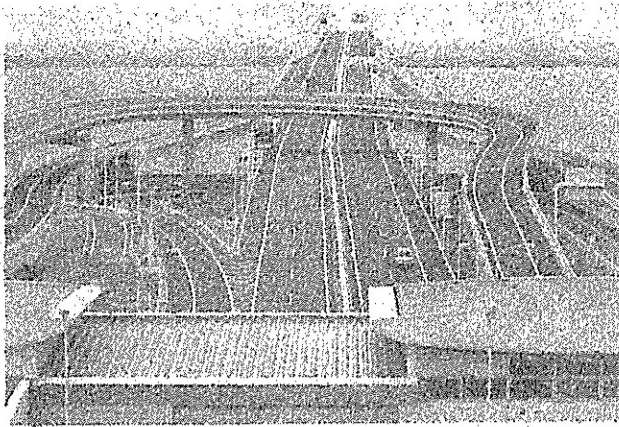
低迷打破へ「800円」運動



2017.12.22 毎日新聞

未来への架け橋

2001年11月、木更津商工会議所。集まった地元経営者ら約50人を前に、法政大学で講師をしていた松下文洋(70)が熱弁を振るっていた。「通行料を値下げして、木更津の活性化を図るべきだ」。講演のテーマは4年前の1997年12月に開催した東京湾アクアライン。国や自治体などにやるべき経済効果を研究する「公共経済学」が専門の松下は、脚題前からアクアラインを研究し、最新の分析を使って1日平均交通量を「1万1000台」と予測していた。



通行する車がまばらな東京湾アクアライン。2002年に普通車2320円(ETC料金)に引き下げられたが、大幅な利用増には結びつかなかった。NEXCO東日本提供(2005年5月撮影)。

「橋の下」を研究し、最新の分析を使って1日平均交通量を「1万1000台」と予測していた。松下は、脚題前からアクアラインを研究し、最新の分析を使って1日平均交通量を「1万1000台」と予測していた。松下は、脚題前からアクアラインを研究し、最新の分析を使って1日平均交通量を「1万1000台」と予測していた。

18日に開通20周年を迎えた東京湾アクアライン。架け橋が現実になった。活性化をもたらす、首都圏の大動脈へと成長するまでの道のりを追った。

「無敵だ」と言っていたが、「面白」と興味を持った人物もいた。木更津市で不動産業を営む高橋浩(58)だ。...

